この度、智頭町と協会けんぽ鳥取支部は「智頭町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結しました。

当支部が行った市町村との協定は琴浦町に次いで二番目、東部地区では初めてとなります。

当支部は県内の中小企業にお勤めの被保険者とその被扶養者の、健診をはじめとした健康づくりを担っておりますが、被保険者は会社、被扶養者は地域（家庭）、それぞれの環境に合わせた事業を推進しなければならないという課題があります。

特に、鳥取県の最大の課題となっているがんや心疾患、糖尿病といった生活習慣病の早期発見・早期治療につながる『健診受診率の向上』は、当支部にとっても、智頭町にとっても共通する最優先の課題であり、積極的に取り組む必要があります。

一方、当支部では健康増進策を進める一環として、県・労働局・各市町村など関係機関とのネットワークづくりを積極的に進めていますが、特に県と連携して開始した「健康経営マイレージ事業」（企業が行う健康づくりをポイント化し表彰等を行うもの）や、先に琴浦町で進めている被扶養者の健診受診率向上の施策は先に挙げた課題解決の礎となるものと考えております。

本協定が町民の皆様・町内事業所の皆様の健康増進に寄与できるとともに、将来的な医療費上昇の抑制に繋がることを展望しつつ、智頭町と協会けんぽ鳥取支部がこれまで培ってきたノウハウを共有することで健康づくりの実効性を高め、さらに双方が保有するレセプト情報や健診結果といったデータ分析を並行して行うことで見つかる智頭町の新たな健康課題にも積極的にチャレンジする所存です。

皆様のご理解とご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

全国健康保険協会　鳥取支部長　石本　健一